

平成 27 年 5 月 17 日

各 位

Clayteam について

産業技術総合研究所
化学プロセス研究部門
蛸名 武雄

2003 年に産業技術総合研究所において開発された粘土膜は、その原料粘土、製膜法、加工法、応用に関して多くの検討が行われてきた。その結果、多くの研究機関・企業の個別的な開発は一定のレベルに到達し、実用化に至ったものもある。また論文や特許などによって共有可能な知識も蓄積されてきている。

一方、材料科学研究分野においても、粘土やナノシートなどから、膜化・シート化させる応用研究が多くなり、また注目されるようになってきている。

しかしながら、汎用材としての粘土膜については、まだその本格的な実用化のために、乗り越えなければならない技術的・経済的課題があり、その課題克服のためには、さらなる研究機関・企業の連携が必要である。そのような認識で 2008 年に設立した「クレースト連絡会」は約2年間の活動で、その一定の役割を果たした。ここで「クレースト連絡会」をさらに発展させ、連携機能を強化した組織によって、強力に粘土膜および無機ナノ素材を生かした材料開発を、多くの分野・業種のものづくりの英知を結集し、加速・実現したい。その連携を行う場として産総研コンソーシアム Clayteam を設立する。

以 上